

# ロードオアシスひらた



1月27日(金)福島県男女共生センター(二本松市)において、農林漁業者はもちろん、加工、流通など6次化にかかる100名以上の関係者が集まり開催されました。(主催・福島県)はじめに「地域資源を生かし地元応援商品を!」というテーマで3件の優良事例の発表会が行われ、道の駅ひらたもそれに選ばれて高野駅長が発表講演を行いました。



## 福島県6次化交流会

### 県内の6次産業関係者が集結

続いて参加者交流会・商談会が行われました。参加者は数班に分かれて

グループ交流し、発表者や6次化イノベーターを中心には課題解決や販路開拓について討議し、また加工・流通関係者などと

商談会を行いました。3時間以上にわたる催しどでしたが、中身の濃い時間で、道の駅ひらたの今後の商品開発にも生かせる内容でした。

(主催・福島県地域振興課)昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（次頁へ続く）

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（次頁へ続く）

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（次頁へ続く）

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。

（主催・福島県地域振興課）昨年12月13日に続いて2回目の開催です。



### あぶくま地域づくり講座 第2回ワーキングショット開催

1月25日(水)、すがまプラザ交流センター(玉川村)で開催されました。

1回目は「地域資源を探る」をテーマに、今回は「対話と熟議のちから

- 1月27日(金)福島県6次産業交流会(二本松)
- 1月30日(月)日本一辛い村商品開発会議
- 1月25日(水)あぶくま地域づくり講座第2回ワーキングショット
- 1月27日(金)福島県6次産業交流会(二本松)
- 1月30日(月)日本一辛い村商品開発会議
- 2月8日(水)食品衛生責任者講習会
- 2月9日(木)日本一辛い村商品開発会議
- 2月11日(土)品種検討会・種子販売会
- 2月14日(火)月例監査会

(前頁から続く)

掛け声だけの地域づくりではなく、本当の意味で地域課題を解決し、地域の活性化につなげるために、目的を共有する人々をどう組織化し、目的・目標達成のためにどのように議論を進め、深めていくかが主内容でした。最近よく耳にします。



商品開発合同会議

ひらたで行われました。生産者である平田村ハバネ口生産組合、流通業者2社および道の駅ひらたの4者合同会議です。現段階で詳細を公表することはできませんが、道の駅だけではなく、県内のスーパーなどで幅広い展開が可能な商品づくりを目指して昨年から企画を進め、このほど関係4者

アシリテーションのあり方、ファシリテーターの務め方と言つてもいいであります。参加者はあぶくま地域においてそれぞれの立場で地域づくりに汗を流している方々ですが、白熱した議論に4時間があつという間に過ぎていきました。最終回の次回は3月1日の予定です。

にのみの会議となりました。今回は試作品を試食しながら、商品コンセプトの確定、パッケージ・デザイン、商流などについて議論し、今年の4月中旬ごろ新発売を目標に事業を進めることになりました。これ以外にも複数の新商品が企画・検討中です。どんな商品ができるかお楽しみに!

## 「日本一辛い村プロジェクト」



前記会議に先立ち、平田村ハバネ口生産組合の打ち合わせ会が開かれま

した。今後の商品開発をはじめ、石川地方グリーンツーリズムモニターツアー、生産計画などについて議論しました。

◆情報提供施設トイレ  
部分工事  
先月号でもお知らせしましたが、道の駅ひらた情報提供施設の和式トイレ（男性用1器、女性用2器）を洋式トイレに改修する工事が継続中です。トイしは24時間使用可能ですが、工事に伴い部分的に利用規制がなされています。皆様にはご不便とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



◆春彼岸花市  
（3月18日（土）～3月21日（火））  
道の駅ひらた特設売り場で開催します。ご来店を心からお待ちしております。

◆スタッフ募集  
道の駅ひらたでは私達と一緒に働くパート社員を募集しています。

◆情報提供施設トイレ  
ハローワーク須賀川（0248-76-8609）または道の駅ひらたまでお問い合わせください。

◆編集後記  
▽ロシアのウクライナ侵攻から早くも一年。2014年のクリミア侵攻から見えるともうの年日です。自然災害でも戦禍でも最も影響を受けるのは、その原因になんら責任のない、次代を担う子供たち。一日も早い平和実現を心から祈るとともに大人の責任や何をすべきかを考えにいられません。（K）